

令和元年度 企業版ふるさと納税を財源とした事業 評価・検証シート

事業名	桜に彩られたまちづくり事業
事業区分	観光産業の振興
計画・実施年度	平成28年度～令和元年度

●KPIの設定数値

KPI	4月、5月の外国人観光客の宿泊人泊数	(基準値※)H28	H29	H30	R1	R2
		4,151	4,300	4,500	4,800	5,200

●KPIに対する実績評価

※27年数値を使用

KPI	4月、5月の外国人観光客の宿泊人泊数	(基準値※)H28	H29実績	H30実績	R1	R2
		4,151	4,348	5,389	5,750	
目標数値に対する達成率			101.12%	119.76%	119.79%	

●事業の実施状況

※27年数値を使用

(単位:円)

具体的施策	担当課	実施年度	事業費	財源内訳	
				寄附金(企業版ふるさと納税)	一般財源
1 桜天然記念物外国語表示看板制作委託	文化財課	平成28年度	216,000		
2 桜天然記念物外国語表示看板 樺細工枠製作委託	文化財課		30,000		
3 桜天然記念物外国語表示看板 設置工事	文化財課		588,600		
4 桧木内川堤右岸側桜整枝作業委託	文化財課		464,400		
5 国際観光宣伝・誘客事業(タイ国際旅行博プロモーション事業)	農山村体験デザイン室		168,280		
事業費計			1,467,280	1,000,000	467,280

●平成29年度実績

1 国際観光宣伝・誘客事業(タイ国際旅行博プロモーション事業)	国際交流推進室	平成29年度	1,103,880		
2 古城山公園桜植樹業務委託	建設課		1,296,000		
事業費計			2,399,880	1,600,000	799,880

●平成30年度実績

1 国際観光宣伝・誘客事業(台湾国際旅行博プロモーション事業)	国際交流推進室	平成30年度	795,397		
2 市内公園等桜植樹業務委託	建設課		1,134,000		
事業費計			1,929,397	1,000,000	929,397

●令和元年度実績

1 国際観光宣伝・誘客事業(タイプロモーション業務委託)	国際交流推進室	令和元年度	1,995,810		
事業費計			1,995,810	1,000,000	995,810

●具体的施策に対するPDCA

○取り組み内容(Plan)*令和元年度

本プロモーション業務は、GDP成長率が高く今後の訪日外国人旅行者の増加が見込まれる東南アジア諸国、なかでも令和元年11月よりバンコク～仙台の定期便の再開が見込まれていたタイ王国をターゲット市場とし、現地からのモニター招聘等により外国人目線で本市の魅力を情報発信することにより、タイ市場における本市の認知度向上並びにインバウンド誘客の促進を図った。

○どのような施策を実施したか(Do)*令和元年度

10月23日(水)～25日(金)の3日間、発信力のあるタイ人モニター女性2名(日本情報誌KIJIの記者、人気インフルエンサー)が市内の観光名所(田沢湖、武家屋敷、かたくり館、あきた芸術村等)やグルメ(きりたんぼ、地元レストラン等)、温泉(乳頭温泉郷黒湯温泉、鶴の湯)を巡り、その魅力をSNS、動画サイト、雑誌でタイ国内へ周知した。さらに、その反響やモニター本人たちの意見を分析した。

○結果をどう分析するか(Check)*令和元年度

訪日経験豊富な2名のタイ人女性が来訪し、「美しい」「リラックスできる」「日本文化」と言ったキーワードで、地方ならではの魅力を体感し、その様子をSNS等に掲載した。
海外において、秋田県や仙北市の認知度はまだ低い、今回の情報発信により、観光の目的地としての価値をタイ国内に周知することができた。
モニターによる取材先の評価アンケートにおいても、ほぼ全てにおいて好評であり、仙北市の観光地及びコンテンツの多くはタイ人が興味を抱くものも多くあることが分かった。2名とも「普通」とした言語対応(看板・印刷物)については、タイ語のガイドマップを作成し改善を図った。

○どうすればより効果が得られるのか(Action)

コロナ禍終息後は東北を周遊するタイ観光客が増えると想定される。現在は継続した情報発信により仙北市の認知度を上げることが有効であり、併せてコト消費に対応する体験型コンテンツ整備にも注力していくことで、タイからの将来的な誘客につながるものと考えている。

有識者会議による検証・評価	
意見	コメントなし
評価	○
◎取組の深化・発展 △取組の見直し ○取組内容の継続 ×取組の中止・終了	